

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【書 写】

教科用図書北諸県採択地区協議会

# 1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 単元の構成に関しては、「書写のかぎ」で示された学習のポイントをもとに「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の３段階で学習し、「振り返ろう」で説明させることで、学習内容を焦点化して学びを進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、第１学年の導入で小学校書写の確認をさせて円滑な接続を図るとともに、各学年末には「書写テストに挑戦！」を設定し、中学校での学習内容の確実な定着を図ることができる工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元の構成に関しては、各教材に「書き方を学ぼう」を設けて具体的な字形例とともに示されたポイントを学習し、単元末の「書いて身につけよう」において、学習内容を硬筆や日常生活に生かすことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「本編」及び「資料編」の２部で構成され、本編で学習内容を身に付け、資料編で生活の中で必要となる書式を確認し、伝統文化に親しむ資料にふれることを通して幅広い知識を得られるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、各教材が「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の４段階での学習手順となっており、各毛筆教材の導入「試し書き」において、硬筆で書かせることで毛筆と硬筆の学びをつなぐ工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、毛筆学習の成果が確実に硬筆学習へつながるよう、各単元末に「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」を設定することで、習得した書写の力を学習活動や日常生活に活用できるような工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の３段階の学習過程となっており、「学びのかぎ」において、学習のポイントを説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、国語の学習と関連した教材を各学年に提示した「国語」を設定するとともに、「コラム」の中で学校生活や日常生活に書写学習を生かすヒントや題材を取り上げることで、習得した力の活用を促す工夫が見られる。</p>

## 2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「生活に広げよう」では、日常生活の文字を手書きする具体的な場面を通して、書写学習で身に付けた力の生かし方を話し合う活動を設定する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、各単元の「見つけよう」で「書写のかぎ」にある用語を使って説明する活動や「指でなぞって考えよう」の用語を意識した活動を設定する工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学年末教材の「やってみよう」での新聞や情報誌の制作において、これまでの学習を生かした作品を作り上げるためのグループ活動を設定する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、巻末の折り込みに、「書き方を学ぼう一覧」を設け、3年間で身に付ける書写の力が全て確認できるようにするための工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「学習の進め方」の「考えよう」において、課題解決的な学習や話し合い活動を通した学び方を示し、自らの課題意識や話し合いの活性化を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、各教材の冒頭に「試し書き」、学習末に「まとめ書き」を設定し、学習を生かして書いた文字とはじめの文字を比べる学習活動を取り入れる工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自ら課題を発見させたり、「コラム」において文字に関する様々な問いについて話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、第3学年の単元末に「三年間のまとめ」を設け、3年間の学習内容を見開きで確認し、自分の課題を確かめながら毛筆に取り組む教材を設定する工夫が見られる。</p>

### 3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、ページ右上に学習内容を端的に表記することで、生徒が学習内容を意識して、学習に取り組める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、説明の文言を文節で改行したり、小学校で学習していない漢字には初出箇所にもルビを付けたりすることで、全ての生徒への支援となる工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、巻末の「二次元コード一覧表」において教材名ごとにコンテンツの内容や種類が掲載され、必要な情報が一目で分かる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、学年や学習内容ごとにアイコンや色を変えたり、区切り線や囲い線をつけたりするなど、全ての生徒が見やすく学びやすいレイアウトとなるよう工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コード「まなびリンク」から学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、淡い色使いをベースにAB判で作られており、大きな紙面で作品等を見ることができ、文字や作品により注目して学習することができるという工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、取り外して使用できる「書写ブック」により、学びを硬筆に生かすとともに、他教科の学習にも活用することができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆使いのポイントを理解しやすくする工夫が見られる。</p>

#### 4 地域の願いや思い、生徒の実態等

(観点4) 本地区の生徒の実態や課題に対応し、生徒に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 伝統的な文字文化への興味・関心をもたせるために、全学年に文字文化についてのコラム「文字といっしょに」を設け、文字の移り変わり、文房四宝とその生産地、いろは歌、書き初めの複数の題材、日本と中国の古典の書などを掲載し、我が国の伝統と文化及び他国の文化を尊重する態度を養う工夫が見られる。</p> <p>(2) 実生活において手書き文字のよさを効果的に生かす力を養うために、計6単元設けられた「生活に広げよう」では、国語や他教科で扱う言語活動や題材を教材化したり、その内容と連動するように巻末の「書写活用ブック」を構成したりすることで、手書き文字について学んだことを他の学習と関連付けて合科的に学習しながら実生活に生かしやすくするなどの工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 伝統的な文字文化への興味・関心をもたせるために、第1学年の「文字の変遷」では文字の歴史や文化、第3学年の「身のまわりの文字」では手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を取り上げ、また、巻末の「資料編」では、文房四宝や書の古典、書き初めの教材を掲載するなど、文字文化への理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 実生活において手書き文字のよさを効果的に生かす力を養うために、各学年の学習のまとめにおいて「やってみよう」と題して1年間の学びを学校生活に生かせる具体的な課題を設定したり、巻末の「資料編」に「日常の書式」と題して社会生活に役立つ知識の要点をまとめたりして手書き文字について学んだことを実生活に生かしやすくするなどの工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 伝統的な文字文化への興味・関心をもたせるために、各学年に位置づけられた「コラム」では、文房四宝や文字の変遷、「書くこと」の変遷、書の古典などについて掲載する他、書き初め教材を掲載したり日本建築や日常生活で見かける多様な表現による文字を紹介したりして文字文化の豊かさにふれ、文字への興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 実生活において手書き文字のよさを効果的に生かす力を養うために、巻頭の「目的に合わせて書こう」で書写学習と実生活との関連が一目で分かるように示したり、単元構成を「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で学んだ後に学習や日常生活に生かすという流れに統一したりして、学習に見通しをもち、手書き文字について学んだことを実生活に生かしやすくするなどの工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 伝統的な文字文化への興味・関心をもたせるために、身近な文字を探したりユニバーサルデザイン書体の使用例を探したりする活動を取り入れ、また、「書き初めマスターブック」での学習や、漫画を通して手書きのよさを話し合う活動を取り入れるなど、文字文化への興味・関心が高まるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 実生活において手書き文字のよさを効果的に生かす力を養うために、各学年に国語の学習内容と関連した教材を設定した上で、第3学年の初めに「手書きのよさって、何だろう」と題して手書きの価値を改めて考える教材を設定したり、別冊「書写ブック」で知識・技能の要点を復習できるようにしたりして、手書き文字について学んだことを定着させながら実生活に生かしやすくするなどの工夫が見られる。</p>